

ヨーロッパ・エストニア



留学体験談

先輩が語る！

所属：社会・国際総合学類

留学した時期・学年：2014年8月～2015年5月

留学した大学：タリン大学

留学先での専攻・所属：スラブ語学科所属（実際は国際関係学専攻）

奨学金の有無：有り

奨学金の名前：日本学生支援機構

【留学について】

Q1. 留学の目的、動機などを教えてください。

卒業論文に関する専門的な勉強・資料収集。

Q2. 留学先にその大学（国）を選んだ理由を教えてください。

研究先国が研究で主に扱う国であったから。

【大学について】

Q1. 留学した大学の校風を教えてください。

北欧的な雰囲気。比較的新しい大学。

Q2. 留学した大学での学生の様子を教えてください。

現地人（エストニア・ロシア人）が多数派。留学先も積極的に受け入れている（特にエラスムスを利用している留学生が多い）。ほぼ全ての学生が流暢な英語を話す。エストニアの国民性のためか学生間の交流は、通常の授業を中心とした学生生活に限って言えば、あまり積極的に行われていないが留学生は一般的にそれに当てはまらない。

Q3. 留学した大学での留学サポートについて教えてください。もし利用していたら、その様子も教えてください。

チューターシステム（ちなみに私の担当者は一度も会ったことがない。サービス質は人による。）留学生担当の職員は非常に丁寧に相談等に乗ってくれた。留学先の大学では、留学生との交流を図る学生団体が活発に活動している他、タリン市の他の大学や高等教育機関とエラスムスネットワークが構築されており、より大規模な交流が活発に行われていた。

Q4. 留学先で入っていたサークルなどがあれば教えてください。また、どのような活動をしていましたか。

なし。幅広くいえば、Q3で述べた大学の交流団体やエラスムスの交流団体のイベントに参加した。パーティーや国外・国内旅行、市内探索・案内、語学カフェなどイメージとしては毎週何らかの活動が行われていた。

【学習について】

Q1. 留学先ではどのような授業を取っていましたか。授業数も覚えていたら教えてください。

ロシア語、エストニア語、ビジネス英語、ドイツ語、国際関係に関する授業（大学院開催）、社会政策、経営学、サイバー防衛と外交に関する授業（オックスフォード大学主催）。合計で13～15つ程度。

Q2. 留学先で一番印象に残っている授業はどの授業ですか。簡単に内容も紹介してください。

グローバルガバナンスという授業（大学院）。国際関係学の中でも比較的新しい概念であるグローバルガバナンスについて、各自の修士論文のテーマを関連づけて論文を作成する。その際に、全参加者（25人）が精選したアカデミック論文25稿全てを参考にし、自分の論文に取り込めるよう引用しなければならない。また、修士論文作成のためのトレーニングであるため、非常に厳しい審査が行われた。

Q3. 筑波大学での授業の様子と比較して、留学先での授業はどうでしたか。気づいた点があれば何でもよいので教えてください。

議論が活発。学生が専門性をもっている。

授業参加や授業の進め方、取り扱う内容など比較的自由であり、学生の主張が非常に重要。

Q4. 留学先での学習において、もっとも必要だったと思うアカデミックスキルは何ですか。（ライティング、スピーキング、リスニング、リーディング、リサーチスキル、クリティカルシンキング、コミュニケーション能力など）

上記項目全て。

留学先に限らず、どれかが欠けていたら、まともな研究は不可能であるはず。ただ、あえて言うならスピーキング。スピーキングがある程度できるということは、リスニングができるということでもあるし、そもそも主張しないと存在しないというふうに認知される。

Q5. 上記に回答した内容で、留学に行く前にできるだけ身につけておけば良かったと思うスキルはありますか。

スピーキング。



Q6. 留学に構えて、どのような準備学習を日本で行いましたか。また、おすすめの学習法があれば教えてください。

【語学について】

準備したこと：G30の授業に参加。外国人と議論を行う。
外国語の記事、論文を読む、ニュースを聞く。

【語学以外について】

準備したこと：論文のためのおおよその事前研究は済ませておいた。

Q7. 留学先での指導員、もしくは授業の担当教員とのコミュニケーションはどうでしたか。なにか気づいた点があれば教えてください。

積極的に行った方が良い。こちらの要望を受け入れてくれることもある。

【ライティングについて】

Q1. 留学前に、どのようなライティングの学習をしましたか。


英語で論文を書いた。

Q2. 筑波大学でのレポート（日本語、外国語）と比較して、留学先でのレポートはどうでしたか。

変わらない。

Q3. 学先のレポートで困ったことがあった時、どのように解決しましたか。

教員や優秀な学生に相談した。





Q4. 留学先にライティングセンター（もしくは類似する学習支援機関）はありましたか。覚えていない。

Q5. 上記の期間を利用していたら、その様子を教えてください。利用していない。

【生活について】

Q1. どのような部屋に住んでいましたか。（寮、アパート、ルームシェア、ホームステイ等）
寮。

Q2. その部屋はどのようにして探しましたか。
留学前に留学先の大学からお知らせを受け取った。

Q3. 部屋を決めるときの注意やアドバイスなどがあればお願いします。
特になし。

Q4. 留学先では、どのようなスーパー、お店を利用していましたか。おすすめやアドバイスがあればお願いします。
色々な場所を利用したので一概には言えない。

Q5. お金の管理はどのようにしていましたか。奨学金や親からの仕送りなど、どのように受け取っていましたか。（現地銀行口座の開設、日本の銀行口座から送金、国際銀行の口座開設、クレジットカードでのATM利用など。
現地銀行口座の開設と日本からの送金。クレジットカードの利用。





Q6. 留学先でアルバイトはしていますか。もしアルバイトをしていたら、その様子を教えてください。

していない。

Q7. 留学先での人間関係を築くにあたって、大切だと思うことがあれば教えてください。また、日本での人間関係との差異もあればお願いします。

いろいろな人と交流してみるといいと思う。

Q8. 大学以外でもコミュニティーに参加しましたか。もし参加していればその様子を教えてください。

エラスムスコミュニティーに参加：留学生が多く、国外旅行も頻繁に行った。皆。元気。

大使館コミュニティーに参加：日本的。エストニア人と交流する機会も何度かあったし、日本の政治家や外交官と交流する機会も多かった。

現地エストニア人コミュニティーに参加：現地人の体験が堪能できる。こればかりは個人で友人を作るしかないと思う。

【治安について】

Q1. 留学した大学、留学先の街の治安はどうでしたか。

非常に良好。

Q2.安全に暮らすための注意やアドバイスがあればお願いします。（危険な地域、しないほうがいい行動など）

自分の意見を意識して行動する。

